

記者提供資料
平成29年(2017年)10月30日
市社会福祉協議会 副理事長・山下(☎924-9151)

B-1 グランプリ明石の運営に障害当事者らが参画

大会を機に啓発活動や行政との協働強化へ

今年6月に市内の障害者団体等6団体が加盟し、地域における障害福祉の充実などを目的に結成された明石市障害当事者等団体連絡協議会〔通称：ASK(あすく)〕が、来月25日(土)、26日(日)に明石公園で開催される「西日本B-1グランプリ in 明石」で大会運営の一翼を担います。

こうした大きなイベントでは、障害当事者や支援者等は出店協力や舞台出演等による協力による参加の経験はあるものの、運営に参画するのは初めてということもあり、企画会議などを重ねながら、本番を迎えようとされています。

そうした中で、現時点において、ヘルプマークの入った風船を作成し、車いすの方等への配付やトイレ前に設置するなどの企画案が具体化しています。

また、当事者自らがボランティアの支援を得ながら、案内所に来られる要支援者への対応を行うことなども検討中です。

ASK(あすく)では、B-1での経験をこれからのまちづくりにつなげたいとの思いもあり、自らで出来る活動や行政と協働で取り組むことで、市内の障害のある人たちがより安心して暮らせるようになり、障害のある人もない人も、共に明るく暮らせる共生のまちづくりを実践したいと考えています。

11月2日(木)午前10時から勤労福祉会館1階のASK(あすく)事務所において、B-1の取組などについて話し合いが行われる予定となっていますので、報道関係各位におかれましては、こうした当事者の取組について取り上げていただければ、障害に対する市民理解の向上と当事者等の方々への応援になると思い、取材のご案内を申し上げます次第です。

ご理解賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

以上